

動物倫理に関する教育科目

獣医学部・獣医学科:

- 獣医学概論(1 年前期)
 - 実験動物学概論とアニマルウェルフェア
- 獣医倫理学(1 年前期・全 7 回、単位数1)
 - 獣医倫理学(導入)
 - 獣医師倫理の基本原則/動物保護法の歴史
 - 動物衛生とアニマルウェルフェア
 - 伴侶動物と産業動物の獣医療と獣医倫理について
 - 野生動物および展示動物と獣医倫理
 - 動物実験に関わる倫理学
 - 獣医倫理学(振り返り)
- 実験動物学(2年生後期・全 14 回、単位数2)
 - 実験動物学の倫理
- 実験動物学実習(2年生前期・全 10 回、単位数1)
 - 動物実験計画書の作成と評価
- 動物行動学(2 年生後期・全 14 回、単位数2))
 - アニマルウェルフェア

獣医学部・獣医保健看護学科:

- 獣医保健看護学概論(1 年前期・全 14 回、単位数2)
 - 動物看護者の倫理と動物福祉
 - 動物実験と動物看護
- 動物品種論(1 年前期・全 14 回、単位数2)
 - 実験動物の品種
- 動物機能学実習(1 年後期・全 7 回、単位数1)
 - 実験動物の基本的な取扱い
- 動物倫理・福祉(3 年前期・全 14 回、単位数2)
 - 生命倫理・動物福祉とは
 - 実験動物の福祉
 - 産業動物の福祉
 - 伴侶動物(愛玩動物)の福祉

野生動物／展示動物の福祉

- ・実験動物学(3年後期・全14回、単位数2)
 - 実験動物の歴史と変遷(1):動物種
 - 実験動物の歴史と変遷(2):動物福祉と関連法規

- ・動物トレーニング学(1年後期・全14回、単位数2)
 - 犬の飼育に必要な環境
 - 猫の飼育に必要な環境
 - 適切な伴侶動物の選択と適正飼養

- ・人間動物関係論 I (2年前期・全14回、単位数2)
 - 動物愛護運動の歴史
 - 動物愛護・福祉の現状
 - 使役動物の歴史と福祉(1)・(2)

獣医学部・獣医保健看護学科:

- ・獣医保健看護学概論(1年前期・全14回、単位数2)
 - 動物看護者の倫理と動物福祉
 - 動物実験と動物看護

- ・動物品種論(1年前期・全14回、単位数2)
 - 実験動物の品種

- ・動物機能学実習(1年後期・全7回、単位数1)
 - 実験動物の基本的な取扱い

- ・動物倫理・福祉(3年前期・全14回、単位数2)
 - 生命倫理・動物福祉とは
 - 実験動物の福祉
 - 産業動物の福祉
 - 伴侶動物(愛玩動物)の福祉
 - 野生動物／展示動物の福祉

- ・実験動物学(3年後期・全14回、単位数2)
 - 実験動物の歴史と変遷(1):動物種

実験動物の歴史と変遷(2):動物福祉と関連法規

- 動物トレーニング学(1年後期・全14回、単位数2)

 - 犬の飼育に必要な環境

 - 猫の飼育に必要な環境

 - 適切な伴侶動物の選択と適正飼養

- 人間動物関係論 I (2 年前期・全 14 回、単位数2)

 - 動物愛護運動の歴史

 - 動物愛護・福祉の現状

 - 使役動物の歴史と福祉

応用生命科学部・動物科学科:

- 動物資源科学概論(1 年前期・全 14 回、単位数 2)

 - 動物が感じるストレスとストレスに対する生体反応

- フレッシュゼミ(1 年後期・全 14 回、単位数 2)

 - 実験動物学教室担当分

- 基礎実験動物学(1 年前期・全 14 回、単位数 2)

 - 実験動物学序論

 - 3Rs と動物の苦痛の分類

 - 飼育管理、輸送方法、特殊実験処置動物の管理(麻酔と疼痛管理)

- 応用実験動物学(2 年後期・全 14 回、単位数 2)

 - 飼育と衛生(3Rs と 5 Freedoms を含めた内容)

 - 施設と環境(行動とエンリッチメント)

- 動物福祉・倫理論(1 年後期・全 14 回、単位数 2)

 - 動物と人間の関係史

 - さまざまな動物観

 - 動物生命倫理

 - 動物に対する配慮の歴史と歴史的変遷

 - 動物福祉と動物愛護、動物の権利

 - 動物福祉と社会

動物福祉と教育、動物保護活動

動物福祉の評価

動物福祉の評価方法① 生理学的評価

動物福祉の評価方法② 行動学的評価

展示動物および野生動物の福祉

実験動物の福祉

産業動物の福祉

伴侶動物の福祉

生体を扱う可能性のある全教職員および全学生

動物実験教育訓練(90分程度) 2年毎の受講を義務づけています